

綺麗な海をみんなでもっと綺麗に！ 下田マイエコ宣言



プラスチックによる海洋汚染を防ぐために、14のテーマの中から
できそうなことを10個選んで実践しましょう！

	テーマ	宣言
1	マイバッグを持ち歩き、レジ袋はもらいません	
2	マイボトルを持ち歩きます	
3	お店でプラスチック製スプーンなどをもらいません	
4	プラスチック製のストローの使用を控えます	
5	スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らします	
6	詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選びます	
7	食品の保存はふた付き容器を使い、ラップの使用を減らします	
8	買い物のときには簡易包装を頼みます	
9	ゴミは所定の場所、時間に、分別して出します	
10	海、川、山のレジャーのあとはごみを持ち帰ります	
11	サーフィンや海水浴を楽しんだ後に周りのごみを少し拾って帰ります	
12	海岸、河川、山などでの清掃活動に参加します	
13	自分がどのくらいプラスチックごみを出しているか考えてみます	
14	海洋プラスチック問題について調べてみます	

〈市保管〉

宣言日（記入日）

年 月 日

お住まいの市町村

氏名（ニックネーム可）

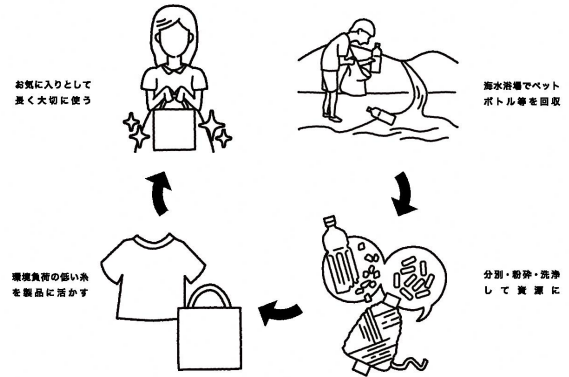
年代

～19／20代／30代／40代／50代／60代／70～

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭

下田市の取組

下田市は、美しい海の保全とその魅力を広く伝えるために、特定非営利活動法人下田ライフセービングクラブと(株)シップスが長年にわたり実施してきた海水浴客の方々が、自主的に参加しやすいビーチクリーン活動と、豊島(株)の「漂着ペットボトルを回収し資源にする、UpDRIFT®（アップドリフト）」の仕組みを活かして、4者の協働により「海浜回収ペットボトルアップサイクルプロジェクト」を行っています。



このプロジェクトでは、ビーチクリーン活動と海浜ペットボトルの回収・アップサイクルが主な活動内容となり、ライフセーバーと一緒に遊泳客や海を楽しむ人々が自発的に参加しやすい形でビーチクリーン活動が行われ、回収されたペットボトルは豊島(株)の「UpDRIFT®」という仕組みを活用して資源として再利用されます。

下田の海の「美しさ」は、地元住民の方々や地元事業者、サーフィンの団体等の多くの方々の協力があって成り立っています。このプロジェクトを通じて、海水浴場を訪れた方々に、下田の海を楽しんでいただきながら、「私も美しい下田の海を守っていく仲間のひとり」という気持ちとともに海の環境保全について考えていただくことを目指しています。

昨年のビーチクリーン活動では、約80kg、約4000本の海浜ペットボトルが回収され、UpDRIFT®のしくみで繊維原料として資源化されています。そして、今年の新たな取り組みとして、シップスがデザインしたUpDRIFT®素材の下田市オリジナルのポロシャツを製作しました。また、ライフセーバーのユニフォームもUpDRIFT®素材を使用して製作されます。

この取組によって、廃棄物として捨てられていた海浜ペットボトルが再利用され、環境に優しい商品として生まれ変わります。海浜ペットボトルを原料としたポロシャツやユニフォームは、みんなが参加したビーチクリーン活動の成果を象徴するものとなり、持続可能な循環型社会の実現に向けた一環となります。

今後も多くの人々がこのプロジェクトに参加し、下田の海の美しさと豊かさを守り伝えていくことを願っています。また、美しい下田のビーチを守るためにみんなの力がどれだけ関わっているのかを意識してもらいたいと考えています。この活動は、下田の海への思いを共有し、海に関わる全ての人々が気づきを持つきっかけとなることを期待しています。

●協働事業者



TOYOSHIMA SHIPS

●目標SDGs達成項目

